

文部科学省共同利用 共同研究拠点
 「越境地域政策研究拠点」
 (2015年度)
越境地域政策研究フォーラム
 愛知大学三遠南信地域連携研究センター

開催趣旨

地域政策は、国・県・市町村などの行政区域を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域などの政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本の市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、従来の行政区域や制度に縛られない地域政策の可能性があるとされます。

愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として、国内外の越境地域を対象とした政策研究を行っております。その一環として、第3回目となる研究フォーラムを下記の通り開催いたします。越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2016年 2月27日(土) 場所:愛知大学豊橋校舎

10:00~12:45 講演・シンポジウム (会場:記念会館3F)

あいさつ 川井 伸一(愛知大学学長) 佐原 光一(豊橋市長)

■ **基調講演「浜松市の地方創生と三遠南信地域」鈴木 康友(浜松市長)**

■ **地域間交流研究シンポジウム 「大学と地方創生」**

パネリスト: 清水 潔 (元文部科学省事務次官、明治大学教授)
 大貝 彰 (豊橋技術科学大学副学長・理事)
 根本 敏行 (静岡文化芸術大学文化政策学部長・教授)
 新井野 洋一 (愛知大学地域政策学部長・教授)

コーディネーター: 戸田 敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)

14:00~16:30 分科会 (※発表者・題および会場は変更になる場合があります)

分科会 1

越境地域とガバナンス (会場:記念会館) コーディネーター: 戸田敏行(愛知大学)
 コメンテーター: 大貝彰(豊橋技術科学大学)

趣旨: 国内県境地域および国境地域の政策事例から、行政境界を跨いだ越境地域におけるガバナンス形成の課題と展望を考える。

- ドイツNW州の広域連携施策レギオナーレに見る地域マネジメントの可能性: 服部敦(中部大学)
- 「新ユーラシア鉄道」の開通に伴う中国の地級市の越境的経済連携の現状と課題: 晁敏(内蒙古大学)
- 歴史的・地理的条件に着目した越境地域政策の比較研究: 上野莉紗(京都大学大学院)
- 越境地域情報共有化とケーブルテレビの役割: 谷口庄一(大同大学)
- 市町村行政評価BMを活用した越境地域のカバナンス研究: 熊倉浩靖(群馬県立女子大学)

分科会 2

越境地域と空間情報 (会場:本館2F) コーディネーター: 蔣湧(愛知大学)
 コメンテーター: 葦網林(慶応義塾大学)

趣旨: 越境地域の情報基盤を考える上で欠かせない、機械学習・GIS・シミュレーションなどデータ技術に関する研究成果を報告し、行政境界で分断されやすい情報を補完する可能性について議論する。

- コンパクトシティを深化させるために必要な視点: 稲垣英樹(安城市役所)
- 機械学習の手法を用いた人口空間解析: 澤田貴行(愛知大学)
- 三遠南信地域間産業連関表を用いた空間経済分析に関する研究: 澁澤博幸(豊橋技術科学大学)
- 最新VR/AR技術を用いた防災情報の3次元可視化: 板宮朋基(愛知工科大学)

分科会 3

越境地域と経済 (会場:本館5F) コーディネーター: 駒木伸比古(愛知大学)
 コメンテーター: 近藤暁夫(愛知大学)

趣旨: 産業・経済分野において海外も含めた行政境界を越えた連携の現状、課題について、経済学、経営学、地理学などの視点から明らかにするとともに、今後の政策展開へのアイデアや議論を深める。

- 遠州灘沿いにおける復興デザインのための「災害対応の素地」に関する研究: 窪田亜矢(東京大学)・萩原拓也(日本設計)
- 人口減少時代のコンパクト都市圏における越境的サブセンターの地理学的研究: 久保倫子(岐阜大学)・阿部亮吾(愛知教育大学)・林琢也(岐阜大学)・田中健作(豊田高専)
- 三遠南信地域の新産業創出に向けた広域的な振興施策に関する研究: 加藤勝敏(東三河地域研究センター)
- タイプラスワンとGMS国境地域開発に関する研究: 名和聖高(愛知大学)

分科会 4

越境地域と人材育成 (会場:本館5F) コーディネーター: 岩崎正弥(愛知大学)
 コメンテーター: 泰嶋久好(愛知大学)

趣旨: 流動性の高い「人」に着目し、家族ネットワークや交流・移住なども含めて「人材育成」の仕掛けや仕組みの現状を見据え、越境地域政策の可能性を検討する。

- 農山村集落の生活を支える地域外家族のネットワークの状況: 筒井一伸(鳥取大学)
- 信越県境地域の地域づくりに向けた人材育成プラットフォームの構築に関する研究: 内海巖(上越市創造行政研究所)
- 都市との交流を通じた人材育成: 藤正三(地域問題研究所)

分科会 5

越境地域と歴史・文化 (会場:研究館1F) コーディネーター: 和田明美(愛知大学)
 コメンテーター: 北川和秀(群馬県立女子大学)

趣旨: 道と越境をテーマに、歴史・地理・民俗・文学の視点から地域政策を捉えなおすとともに、新たなアプローチの方法を探り、今後の越境地域政策の可能性を明確にする。

- 伊場遺跡(浜松市)の刻書木簡: 犬飼隆(博士(言語学))
- 古代・中世東海道の「しかすがの渡り」(豊橋市)ー東西の国境・越境地域と古典文学ー: 和田明美(愛知大学)
- 秋葉道を迂回した江戸の旅人ー秋葉山信仰の高まりー: 渡辺和敏(愛知大学)
- 中央構造線を核にした地域文化ネットワーク: 藤田佳久(愛知大学)

17:00~19:00 統括報告会・交流会 (会場:逍遥館2F(生協))

御名前: 御所属:

御連絡先(TEL・FAX・E-mailいずれか):

2/27参加希望(○をつけてください): **基調講演・シンポジウム、分科会 1・2・3・4・5、交流会**(一般:参加費千円)

※参加をご希望の方は、上記をご記入の上 FAXまたはE-mailにて、2月12日までにお申し込み下さい。

◆お問い合わせ先
 愛知大学
 三遠南信地域連携研究センター
 〒441-8522
 愛知県豊橋市町畑町1-1
 TEL:0532-47-4157
 FAX:0532-47-4576
 E-mail: sen-center@m.aichi-u.ac.jp